

## 応用生態工学会 第4回 北信越事例発表会 in 石川 が開催されます。

応用生態工学とは、「人と生物の共存」「生物多様性の保全」「健全な生態系の持続」を目標としている学問です。

この考え方を広く知っていただくため、現在取り組まれている産・学・官の活動や研究成果を報告する「北信越事例発表会」が開催されます。

なお、北信越地域をフィールドに取り組まれている事例が発表されます。ご興味のある方々の参加をお待ちしています。

1. 日時：令和元年11月8日(金) 10:00～17:50
2. 会場：ITビジネスプラザ武蔵 6階交流室（金沢市武蔵町14番31号）

### 3. プログラム：

10:00 ～ 開会挨拶・主旨説明

実行委員長 柳井清治（石川県立大学教授）

10:10 ～ 基調講演「3次元で進化する流域環境管理と最近の動向」

中村圭吾（土木研究所水環境研究グループ河川生態チーム上席研究員）

11:30 ～ ポスターセッション

13:00 ～ 事例発表（2編）

14:00 ～ 休憩

14:10 ～ 事例発表（3編）

15:40 ～ 休憩

15:55 ～ 事例発表（5編）

17:20 ～ 休憩・発表事例の審査

17:25 ～ 講評・表彰式

玉井信行（東京大学名誉教授）

17:45 ～ 閉会挨拶

副実行委員長 大角一浩（金沢河川国道事務所副所長）

プログラムの詳細は  
次頁をご参考ください



<前回開催時の様子>

### 4. 主催等

主催：応用生態工学会金沢、応用生態工学会

協賛：（一社）北陸地域づくり協会、北陸技術士懇談会、石川県治水協会

後援：国土交通省北陸地方整備局、石川県、金沢市、北國新聞社

金沢河川国道事務所  
ホームページ



### お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所  
副所長 大角一浩 076-264-8800（事務所代表）

# 「応用生態工学会 第4回 北信越事例発表会 in 石川」 開催案内

## ◇ 発表会の趣旨

応用生態工学会は、1997年生態学と土木工学の関係者の共同により発足した学会です。この学会では、毎年9月に全国大会を実施しております。しかし遠隔地での開催が多いため、北信越でも気軽に発表・参加できる会を2012年より隔年で実施しております。今回はこの事例発表会を金沢で開催することになりました。実務技術者・若手研究者の登壇・研鑽の場として、また現場に適用するための知見獲得の場として、積極的な参加を期待します。

応用生態工学とは、「人と生物の共存」「生物多様性の保全」「健全な生態系の持続」を目標としている学問です。この考え方を一般の土木技術者や市民の皆様にご覧いただくことは重要であると考えております。広く一般市民のみならずの参加をお待ちしております。

## ◆ 発表会

日時：令和元年11月8日(金) 10:00～17:50

会場：ITビジネスプラザ武蔵 6階交流室 (定員数:120名)  
金沢市武蔵町14番31号 TEL(076) 224-6340

※「めいてつ・エムザ」スタジオ通り下堤町側エレベータをご利用ください

JR金沢駅(東口)から徒歩約10分、バスで2区間(武蔵ヶ辻)下車徒歩約3分、タクシーで約5分。

※当館に駐車場はございません。お車でお越しの際は近隣の駐車場をご利用ください。



## ◆ プログラム 発表数により変更する場合があります。

- |               |  |
|---------------|--|
| 9:30 ~        | 受付開始   |
| 10:00 ~ 10:10 | 開会挨拶・主旨説明 実行委員長 柳井清治 (石川県立大学教授)  |
| 10:10 ~ 11:30 | 基調講演「3次元で進化する流域環境管理と最近の動向」<br>中村圭吾 (土木研究所水環境研究グループ河川生態チーム上席研究員)  |
| 11:30 ~ 13:00 | ポスターセッションおよび昼食   |
| 13:00 ~ 14:00 | 審査対象口頭発表 2編 各30分 (発表12分、質疑応答18分)<br>・環境 DNA 手法を用いた手取川・梯川における魚類相把握の試行 魚津伸悟 金沢河川国道事務所<br>・糞からの遺伝子解析手法を用いた溪流棲哺乳類カワネズミの遺伝構造研究 山崎 遥 信州大学大学院   |
| 14:00 ~ 14:10 | ----- 休 憩 -----  |
| 14:10 ~ 15:40 | 審査対象口頭発表 3編 各30分 (発表12分、質疑応答18分)<br>・神通川自然再生事業による整備とその効果 宮本憲治 富山河川国道事務所<br>・松本市におけるアオバズクの生息環境要因と生息適地の維持・創出に向けた課題<br>松宮裕秋 (株)環境アセスメントセンター |
| 15:40 ~ 15:55 | ----- 休 憩 -----  |
| 15:55 ~ 17:20 | 一般口頭発表 5編 各17分 (発表12分、質疑応答5分)<br>・農業水路におけるフナ類とドジョウの生息環境の差異 星野 光司 石川県立大学<br>・潜りオリフィスにおける水位差がメダカ類の遡上率と遡上速度に与える影響<br>吉本 沙織 石川県中能登農林総合事務所    |
|               | ・ルミネッセンス法を用いた千里浜海岸および加越海岸における手取川起源土砂の移動評価<br>佐藤 李沙 石川県立大学  |
|               | ・ルミネッセンス法を利用した千里浜の養浜効果の評価 蜜澤 岳 石川県立大学  |
|               | ・九頭竜川におけるアラレガコ(カマキリ)の保全・再生に向けて 田原 大輔 福井県立大学  |
| 17:20 ~ 17:25 | ----- 休 憩 -----  |
| 17:25 ~ 17:45 | 講評・表彰式 審査委員長 玉井信行 (東京大学名誉教授)   |
| 17:45 ~ 17:50 | 閉会挨拶 副実行委員長 大角一浩 (金沢河川国道事務所副所長)  |

主 催：応用生態工学会金沢、応用生態工学会

協 賛：(一社)北陸地域づくり協会、北陸技術士懇談会、石川県治水協会

後 援：国土交通省北陸地方整備局、石川県、金沢市、北國新聞社